

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

愛岐せせらぎの家

グループの名称

愛岐せせらぎの家

直近採択グループ番号

06-0750-0461

(グループ代表者)

代表者名

鈴木 篤志

代表者印

代表者所属先

株式会社スズケンコーポレイション

代表者所在地

愛知県江南市中奈良町熊野107番地1

代表者電話番号

0587-55-7899

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社スズケンコーポレイション

事務局担当者名

鈴木 修

印

事務局郵便番号

483-8256

事務局所在地

愛知県江南市中奈良町熊野107番地1

事務局電話番号

0587-55-7899

事務局FAX

0587-55-6824

事務局担当者E-mail

aigi\_seseragi@yahoo.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		10	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		5	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	原則的には1社1棟を最低配分戸数とし、その上でこれまで補助対象の木造住宅への取組が少ない工務店や受注が確実視されている工務店へ優先的に配分していく。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	

グループ構成員に原木供給者を含めない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含めないことがある場合の理由

海外産の合法木材については原木供給者の特定が困難な為、供給ルートに構成員を含めない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
<b>I. 原木供給</b>						
21	I - 1	飛騨高山森林組合		506-0102	岐阜県高山市清見町三日町187番地1	0577-68-2221
23	I - 2	株式会社東海木材相互市場		456-0033	愛知県名古屋市中区花表町21番1号	052-881-1551
24	I - 28	ウッドピア市売協同組合		515-0088	三重県松阪市木の郷町11番地	0598-20-2211
21	I - 29	岐阜県森林組合連合会		500-8356	岐阜県岐阜市六条江東2丁目5番6号	0582-75-4890
21	I - 30	東濃ヒノキ白川市場協同組合		509-1113	岐阜県加茂郡白川町三川1399番地の3	0574-72-2345
	I - 31					
	I - 32					
	I - 33					
	I - 34					
	I - 35					
	I - 36					
	I - 37					
	I - 38					
	I - 39					
	I - 40					
	I - 41					
	I - 42					
	I - 43					
	I - 44					
	I - 45					
	I - 46					
	I - 47					
	I - 48					
	I - 49					
	I - 50					
	I - 51					
	I - 52					
	I - 53					
	I - 54					
	I - 55					













＜グループ構成員記入用リスト＞VI. 施工-2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成29年(1月～12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計 数(H27～H29)			被災地 に該当	ZEHピ ルダ ーに 該当	BELS I務 店に 該当	
				元請の 新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅 の実績		うち認定低炭素住宅・性能向 上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅 の実績		優良建築物の 着工床面積の実績		長期優 良住宅	高度省 エネ型 住宅	ゼロエ ネ住宅				
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均							
23	VI - 8	75643	株式会社スズケンコーポレイション	5 戸	4 戸	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下		○	○
23	VI - 9	75836	丸武住建株式会社	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			
21	VI - 10	74619	丹羽木材株式会社	6 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下		○	○
21	VI - 14	74396	株式会社ORIBE	10 戸	10 戸	1 戸	3 戸	0 戸	0 戸	2 戸	2 戸	2 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	4以上	3以下	3以下		○	○
21	VI - 16	74704	風建設株式会社	9 戸	9 戸	7 戸	7 戸	1 戸	0 戸	3 戸	2 戸	2 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	4以上	4以上	4以上		○	○
21	VI - 18	74706	櫻井建設株式会社	5 戸	5 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下		○	○
21	VI - 22	74352	ヤマカトラストホームズ株式会社	6 戸	8 戸	5 戸	6 戸	0 戸	0 戸	3 戸	1 戸	1 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			○
21	VI - 23	74641	名古屋建築株式会社	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	2 戸	1 戸	1 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	4以上	3以下		○	○
21	VI - 24	74644	矢野建設株式会社	2 戸	3 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下		○	○
21	VI - 25	74496	株式会社大安ハイム	4 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下		○	○
21	VI - 26	74572	今井建築	5 戸	4 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			
21	VI - 27	74526	株式会社野田建設	4 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下		○	
21	VI - 38		株式会社一建	4 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3以下	3以下	3以下			
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						





1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 愛岐せせらぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 愛岐せせらぎの家	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0750-0461	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	岐阜県・愛知県の地域は、夏は非常に暑く、冬は非常に寒い地域です。しかし厳しい自然環境ですが、木曽川・長良川・揖斐川等の大きな川が流れており自然風も利用できる地域でもあります。そのことから住宅の基本外皮性能を高め真夏・真冬の外部環境の影響を受けない構造として、自然風利用や日射熱暖房などを最大限活用できる設計提案を積極的に行うこととします。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	【安心・安全な家】建築対象地域を5・6地域として住宅性能を下記とする。 ⇒ 全棟断熱性能等級4をクリアする。 ⇒ [C値1.0以下とする、全棟気密測定を実施する。] ⇒ 制震テープを積極的に提案する。 ⇒ 耐震性 耐震等級を2以上とする(長寿命型住宅のみ)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	愛知・岐阜の気候を最大限有効活用できるように通風や日射取得(採光)取り入れるデザイン提案を積極的に行う。 ⇒ 通風・創風シュミレーションを全棟実施する。 ⇒ 敷地内に土または芝生を設ける。 ⇒ シンボルとなる広葉樹を1本植え日射遮蔽及び日射取得を行う。	○
④①～③の背景	愛知・岐阜地域は全国でも有数な酷暑地域であり、夏の対策を重視するため、結果冬の対策が不十分な地域です。その為、住宅の基本性能が低いことが挙げられます。また、東海地震の懸念もあり耐震性の確保も重要となります。そのため気密・断熱・耐震のバランスのとれた住宅の供給が必要な地域です。  以上の背景より高断熱、自然活用、耐震性の「愛岐せせらぎの家」を提供します。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: □当グループでは在来木造軸組工法に構造用合板を使い階高をできるだけ統一する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 【共通標準仕様】①硬質ウレタンフォームの断熱材を使用 ②断熱材が35年無結露保証付とする。 ③耐震性を高めるため構造用合板・パネルを使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 【共通標準仕様】①硬質ウレタンフォームの断熱材を使用 ②断熱材が35年無結露保証付とする。 ③耐震性を高めるため構造用合板を使用する。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 積極的に共通の流通事業者より共同購入することで合理化をすすめる。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 流通事業者向け勉強会を開催して目標住宅(省エネ住宅)の考え方を理解してもらい最適な住設(建材)提案できるようにする。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局により構成員へ定期的な情報発信・情報共有を行う。隔月で勉強会を開催するなかで生産の合理化等の取組、方針について検討していく。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 生産の合理化等への取組に関し、構成員からの要望を事務局が検討テーマとしてグループ構成員で検討し改善する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: □気密測定を全棟で実施して、C値 1.0以下を基準とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: □気密測定を全棟で実施して結果を性能報告書としてお施主様に提出する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ共通の見積書を検討する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員(施工業者)で御施主様向けイベント(セミナー、バスツアーなど)を開催しグループの取組も伝えて信頼性を向上をはかる。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: これからグループ内で現状を把握し積極的に提案していく。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: これからグループ内で現状を把握し積極的に検討する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: これからグループ内で現状を把握し加入を積極的に提案する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: これからグループ内で現状を把握し積極的に取組めるようにする。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 愛岐せせらぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 愛岐せせらぎの家	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0750-0461		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 第三者である住宅履歴情報サービス機関において住宅履歴を30年間保管・管理を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 第三者である住宅履歴情報サービス機関 株式会社フォーラム・ジェイを活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 住宅履歴証明書を取得する。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 定期点検時期・点検項目を統一する。	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 定期点検時期・点検項目を統一した内容で補修する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 点検記録を第三者機関提出する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 住まい管理勉強会の開催経験がある構成員が開催方法を未経験構成員へ活動事例をできるだけ伝えて積極的に住まい管理勉強会を実施する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> DIY体験会など開催経験がある構成員が開催方法を未経験構成員へ活動事例を伝え積極的にDIY体験会などを実施する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 定期的に建材メーカーなどのショールームを活用しメンテナンス(リフォーム)促進の相談会を積極的に開催していく。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> グループ構成員により隔月の勉強会を開催していく。維持管理に関するテーマを検討していく。	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 該当工務店が倒産・廃業した場合は、第三者機関の履歴情報を利用してグループ構成員が引継を行う。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 該当工務店が倒産・廃業した場合は、第三者機関の履歴情報を利用してグループ構成員が引継を行う。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 地域型住宅の提供にあたり、実施経験のある工務店が未経験工務店へ実施経験を活用し技術講習会を開催する。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> グループがテーマとしている高気密の木造軸組工法の気密性を確認するために全棟で気密測定を実施し施工品質を管理する。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 気密測定後に測定結果が記載された性能報告書で確認する。	◎	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 隔月の勉強会の中で需給計画を確認し更新する。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 隔月で開催する勉強会の中で経験済ビルダーの活動事例講演や技術講習会を開催し構成員の技術力向上をしていきます。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 今年度は策定しない。		
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 12人 今年度の参加目標人数 6	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 12人 今年度の参加目標人数 6	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より講習会の日程等の情報を構成委員に告知し参加を促進する。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 愛岐せせらぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 愛岐せせらぎの家	(結成年) 2015 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0750-0461													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	□グループで指定した地域材を主要構造材(柱・梁・桁・土台)に使用するに使用する。												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	□ 50%未満    ■ 50%以上    □ 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: □ 使用していない    ■ 使用している		柱: □ 使用していない    ■ 使用している		梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している	造作材	枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している	板材	壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している
主要構造材	土台: □ 使用していない    ■ 使用している													
	柱: □ 使用していない    ■ 使用している													
	梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している													
板材	壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>□原産国が海外の合法木材について、産地・出荷が多岐にわたり原木供給者製材会社の特定が困難な場合が多々ある。その為海外の合法木材を使用する場合は、原木供給、製材に該当する業者は構成員に含まず、流通グループに所属する構成員による合法性の証明によって代替する。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない    ■ ある → 内容: □グループ内で地域材使用に関する情報収集し情報共有する。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない    ■ ある → 内容: □グループ内で地域材価格に関する情報収集し情報共有する。												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: □グループ内で地域材使用に関する情報収集、原木事業者と受給計画を積極的に作成確認する。												
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容:												
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: 美濃和紙などの地産品を積極的に提案する。												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: 美濃和紙などの地産品を積極的に提案する。												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: □地域の伝統的なデザインを継承できるように地域伝統的なデザインを積極的に勉強会を開催できるようにする。												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: □建設地域に地域の住まい方があれば積極的に地域の住まい方継承ができる提案を積極的にする。												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: □地域の街並み形成へ寄与できるように、建設地にあった外観デザインの外構を積極提案する。												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	□ 行っていない    ■ 行っている → 内容: □和の住まいの要素を積極的に提案する。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。													
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組													
	平成28年熊本地震の復興に資する取組													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

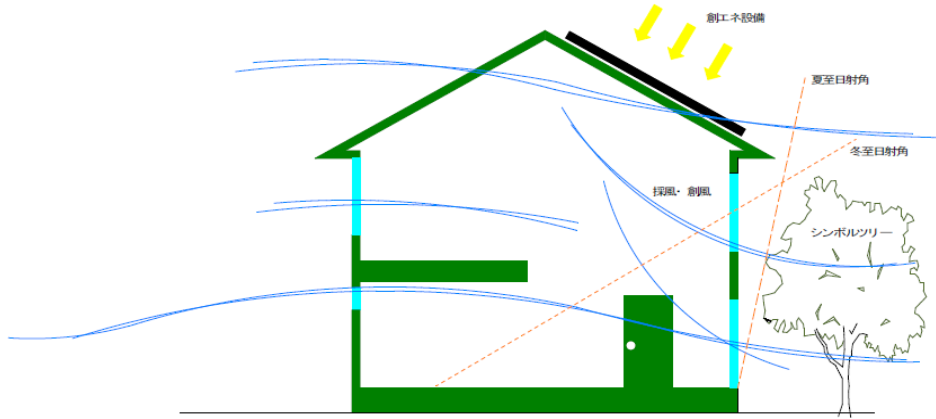
1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 愛岐せせらぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 愛岐せせらぎの家	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0750-0461	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型・優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。